

議会 だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2022年(令和4年)12月1日



<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

目次

令和4年第3回定例会の提出議案と議決結果	②
人事案件	②
委員会審査	③～④
高校生会議 市への報告	④
一般質問	⑤～⑪
令和3年度決算審査	⑫～⑮
ご意見箱、第4回定例会の日程	⑯

ボートレースチケットショップ阿波かもじま オープニングセレモニー

【令和4年10月1日開催】

鳴門市議会からは、東議長・潮崎副議長・
高麗産業建設委員長・小西産業建設副委員長が出席しました。



《 令和4年 第3回定例会の提出議案と議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第47号	令和4年度鳴門市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	予算決算
議案第48号	鳴南市役所設定条例等の廃止について	原案可決	総務文教
議案第49号	鳴門市公民館条例等の一部改正について		
議案第50号	鳴門市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		
議案第51号	鳴門市職員退職手当支給条例の一部改正について		
議案第52号	鳴門市奨学金支給条例の一部改正について		
議案第53号	財産の取得について		
議案第54号	工事請負変更契約の締結について（鳴門市新庁舎整備事業）		
報告第10号	鳴門市観光コンベンション株式会社の経営状況について	報 告	産業建設
報告第11号	令和3年度決算に基づく鳴門市健全化判断比率について		予算決算
報告第12号	令和3年度決算に基づく鳴門市資金不足比率について		
同意第4号	教育委員会委員の任命について	同 意	
同意第5号	公平委員会委員の選任について	同 意	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	同 意	
選 第1号	選挙管理委員の選挙について	選 挙	
選 第2号	選挙管理委員補充員の選挙について		

請願の処理

請願番号	案 件	審議結果	所管の委員会
請願第2号	「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	継続審査	総務文教

人事案件

●教育委員会委員

はまかわ ゆういち
濱川 裕一 氏（里浦町）

●公平委員会委員

おおくま つとむ
大熊 勤 氏（撫養町）

●人権擁護委員

おか つとむ
岡 勉 氏（撫養町）

こんどう としお
近藤 稔夫 氏（北灘町）

にしかわ ひろし
西川 寛 氏（大津町）

●選挙管理委員

ひらおか しゅんじ
平岡 俊司 氏（撫養町）

こいけ みつひろ
小池 充博 氏（瀬戸町）

よしなが みよこ
吉永美代子 氏（大津町）

さかきもと しゅんぞう
榎本 春造 氏（北灘町）



●選挙管理委員補充員

〈第1順位〉

あさ い くに こ
朝井 邦子 氏（撫養町）

〈第2順位〉

もりきた ゆり
森北 由里 氏（大麻町）

〈第3順位〉

さわ だ じろう
澤田 二郎 氏（鳴門町）

〈第4順位〉

はまし あつし
濱西 篤志 氏（里浦町）

総務文教委員会

●議案第52号

鳴門市奨学金支給条例の一部改正について

奨学金支給の対象を拡大するとともに、支給の時期を前倒しするため、所要の改正を行うもの。

【質疑】奨学金の支給要件が、「生活保護法の規定による保護を受けている世帯に準ずる程度に困窮している世帯」へと緩和されるが、どのような世帯が該当するのか。

【答弁】就学援助と同じ基準である生活保護基準額の1・3倍までの所得である世帯が該当する。

【質疑】奨学金の支給対象となる方をどのように把握するのか。

【答弁】就学援助を受けられている方が対象となることから、把握はしやすいと考えている。



予算決算委員会

●議案第47号

令和4年度鳴門市一般会計補正予算(第3号)

新型コロナウイルス感染症対策緊急支援策第17弾として、オミクロン株対応ワクチン接種事業や、苦しい状況が続く水産業など引き続き支援が必要とされる事業者への支援を行うとともに、鳴門市四国のゲートウェイ推進プロジェクト支援補助金や、大学生と考える「半農半X」推進事業など、本市の将来を見据えた重要施策に必要な予算を計上するもの。

【質疑】道の駅「くるくる なると」の駐車場用地購入の予算が計上されているが、この土地を購入することにより、どの程度の駐車台数が確保されると見込んでいるのか。

【答弁】60台程度の駐車が可能で、現在と同等の来客数であれば、週末に臨時駐車場に駐車している台数分は確保できるものと考えている。

【質疑】駐車台数が増えることにより、道の駅の指定管理者の利益も上がると思うが、市への納付金率を変更する予定はあるのか。

【答弁】指定管理者と6年間の管理運営に関する協定を締結しているので、直ちに変更は難しい。



道の駅「くるくる なると」

新庁舎整備事業工事請負契約審査特別委員会

●議案第54号

工事請負変更契約の締結について（鳴門市新庁舎整備事業）

労務費、原材料費、エネルギーコストなどが急激に上昇したため、請負金額の変更を行うもの。

【質疑】 特別な要因がなければ、今後、請負金額が継続費で設定している60億4600万円を超えることはないかと理解してよいのか。

【答弁】 請負契約であることから、通常合理的な範囲内の価格の変動は、契約当初から予見可能なものとして、受注者が負担することとなっているが、今回のように賃金や物価の変動が合理的な範囲を超える場合には、受注者のみの負担とすることは不適切であるため、契約に際して請負金額の変更を可能とする条項を設けている。

今後賃金や物価の上昇が続く可能性があるため、品質を落とさずにコストを下げることも行いながら、最終的な請負金額が継続費として設定している額の範囲内に収まるよう努めていく。



建設中の鳴門市役所新庁舎

高校生会議 市への報告

今後の市政運営の参考としてもらうため、令和4年8月2日(火)に開催した鳴門市議会 高校生会議(～住みよい鳴門市になるために今必要なこと～)に参加した5名の高校生から出された意見を常任委員会の会議の中で市に報告しました。常任委員会ごとの報告事項は、次のとおりです。

【報告事項】

〈総務文教委員会〉

- 1 かけがえのない青春を送ることができる世代である中高生を対象としたイベントを実施してほしい。
- 2 高校生に対してどのような事業を実施してほしいのかなどの意見を求めてほしい。
- 3 市公式ウェブサイトは難しい言葉ばかり並んでいて分かりにくい。
- 4 生活の安心のために、無条件で市民一人ひとりに給付金を支給してほしい。
- 5 優秀な若者が県外に出て行って帰ってこないのは市にとって損失だと思う。また、県外に出て学びたくても金銭的な問題であきらめて市内に留まる若者もいる。そういった若者が活躍できるように支援してほしい。

〈生活福祉委員会〉

- 1 スポーツツーリズムの計画はあるのか。
- 2 UZU PARKのような気軽に活動できるスポーツ施設を整備してほしい。
- 3 まだまだ男女が平等に生活するには厳しい社会であるが、女性の産休や育休、賃金などの状況改善に向けて、市はどのように取り組んでいるのか。
- 4 男女平等という点では、男女を別々に考えるのではなく、一緒に考えることが必要ではないのか。
- 5 生活の安心のために、市民一人ひとりを対象とした現金給付を実施してほしい。

〈産業建設委員会〉

- 1 地域おこしなどのイベントで民間企業と連携したイベントを開催してほしい。
- 2 鳴門駅を中心としたイベントを考えてほしい。
- 3 自転車、徒歩圏内に学校帰りに寄れる場所、遊べる場所があればよいと思う。
- 4 鳴門市には見る観光は多いが、体験する観光が少ない。廃校などを活用した週替わり、月替わりの体験型観光をつくってはどうか。その中で鳴門高校の阿波おどり部が指導する阿波おどり体験もよいと思う。



一般質問

代表質問

①小西 努(会派 潮)

1. 市長の政治姿勢について

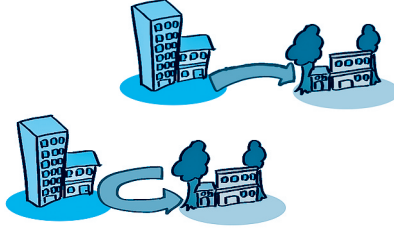
- (1) 9月補正予算について
- (2) なるとまるごと子育て応援パッケージについて



②野田 粹之(会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 人口減少問題について



③東谷 伸治(会派 ナルト地方創生会)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 終活サポート事業について
- (2) 水環境施策について
- (3) 河川の管理について

2. 農業行政について

- (1) 耕作放棄地について
- (2) 獣害対策について

3. 外国人住民について

- (1) 外国人住民への支援等について

④宅川 靖次(会派 平成なると)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 人口減対策について
- (2) 地域スポーツの未来について

2. 防災行政について

- (1) 防災活動の取り組みについて



⑤前田ナツ子(会派 公明党)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 公共交通について
- (2) コミュニティバスについて

2. 福祉行政について

- (1) インフルエンザ予防接種助成金について



⑥高麗 裕之(会派 未来)

1. 物価高に負けない支援策について

- (1) 物価高に伴う本市の支援策について

2. 動物愛護の取り組みについて

- (1) 犬や猫へのマイクロチップ装着の義務化について
- (2) 飼い主のいない猫について
- (3) ねこねこフェスティバルinポートレース鳴門について

問 4月29日に開駅した道の駅「くるくるなる」とは好調をキープしているが、駐車場不足は否めない。今回、用地購入を計画しているが、どの程度の駐車場不足を解消できるのか。

道の駅「くるくるなる」との駐車場不足解消

要望 鋭意すすめていただきたい。

答 国の審議会において、当該ワクチンは、重症化予防の効果があること、感染、発病予防効果も期待されること、また、今後の変異株に対しても有効であると期待されるとの見解が示された。今後の実施については、10月中旬の開始を想定して準備している。

問 オミクロン株対応のワクチン接種についてはどう考えるのか。どのような内容なのか。いつから始まるのか。

オミクロン株対応のワクチン接種について



会派 潮
こにし
小西 努 つとむ

問 なるとまるごと子育て応援パッケージ事業を積極的に展開し、街を元気にし、その恩恵を市民に広げようとしているが、周知方法はどのようなのか。

答 パンフレット配布、報道機関を通じた広報、ケーブルTVでの事業説明の放送、市公式ウェブサイトでの事業周知、市公式TwitterやLINEを活用した情報発信などをして、若者世代にアピールしていく。

制度の周知の方法について

要望 事故を未然に防ぎ、安心してスムーズに利用できるような早急に取り組んでほしい。



道の駅「くるくるなる」との駐車場

答 繁忙期や土日は、臨時駐車場に50〜70台の駐車が行われていることもあり、この分を解消できるものと考えている。

〈議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています〉



会派 創心クラブ
の だ きよ ゆき
野田 粹之

移住交流施策について

問 移住交流施策に係る現状、今後の取り組みについて、相談内容について、移住者の受け入れ課題について伺う。

答 移住交流支援センターを設置し、移住に関するワンストップ相談窓口として、各支援制度、空き家バンク制度の紹介などを行っている。令和3年度の相談件数は131件、毎年100件を超える相談がある。相談内容としては、お試し滞在助成をはじめ、移住を検討するにあたっての支援制度や空き家バンクの利用方法、物件情報について相談が多い。元プロ野球選手の里崎智也氏に移住交流PR大使を委嘱し、情報発信にご協力をいただくとともに、農業をテーマとした新たな移住コンセプト半農半Xの推進に取り組んでいる。

人口流出対策について

問 人口流出対策についてどのような取り組みをしているのか。また、市内の2つの高校に通っている子どもは、どのような進路を取っているのか。

答 本市では若年層の減少、子育て世代の流出が大きな課題であるため、若年層が転出する主な機会である結婚・新生活・妊娠・出産・就学前から高校、住宅取得といった各ステップの子育て世代をさまざまな施策で包括的にサポートする「なるとまるごと子育て応援パッケージ事業」が人口流出抑制を実施していくための切り札としてスタートしている。学区制についてもシンポジウムなどを準備をしている。令和3年度の鳴門高校の進学者数は、市内7名、県内137名、県外93名、鳴門渦潮高校における進学者数は市内1名、県内60名、県外48名となっている。



会派 ナルト
地方創生会
ひがしだに しんじ
東谷 伸治

水環境施策について

問 合併処理浄化槽の法定検査率を把握しているのか。また、下水道使用料および受益者負担金の見直しについての考えは。

答 浄化槽法第11条における法定検査率率は令和3年度において54.3%であり、依然として低迷しているが適正な執行に努める。

下水道使用料は、平成18年の「鳴門市公共下水道受益者負担金等審議会」の答申をもとに決定されたが見直しを行い、現在の単価は1立方メートルあたり160円から200円までに設定している。また、現在、「下水道事業経営戦略」の改訂を行い、適正な使用料金の把握に努める。受益者負担金については、分割



納付制度のほか、未利用地や低所得世帯などには負担金徴収を猶予し、市民負担の軽減を図っている。

河川管理について

問 河川の浚渫の現状は。

答 準用河川は総延長1万8930m。重要度や緊急性を判断し、河川の浚渫を実施している。昨年度は約30か所の浚渫を実施し、そのうち3か所を計画的に行なった。

農業行政について

問 耕作放棄地を解消するための取り組みは。

答 経営耕地面積1780ヘクタールのうち耕作放棄地98ヘクタール。JA徳島北と連携しながら「耕作放棄地対策共同利用農機具貸付業務」を実施。耕作放棄地の未然防止や除草作業の効率化を進めている。

獣害の農作物被害額は404万円。イノシシによるもの16万円、サルによるもの4万円、カラス・カモ等鳥類によるもの384万円。レンコンの被害が最も多い。市組織として横断的な対応を進める。



会派 平成なると
 たくかわ やすじ
 宅川 靖次

若者の定住に向けた取り組み

問 若者の定住に向けた「なるとまるごと子育て応援パッケージ」の今後の取り組みは。

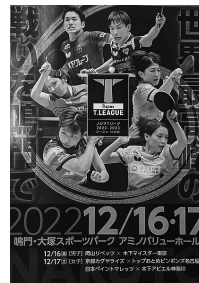
答 さまざまな広報媒体を活用し広く周知させていくとともに、実際に子育て応援パッケージ関連事業を利用した方の意見なども参考としつつ、適宜、事業の見直しや重点化を図りながら、各種施策を積極的かつ包括的に推進することにより、県内随一の子育て応援都市の実現を通じた子育て世代の移住・定住の促進を図っていく。

交流人口増加の取り組み

問 スポーツ大会・合宿の誘致やプロスポーツの連携などにより交流人口の増加を図っているが、今後どのように取り組むのか。

答 卓球Tリーグの誘致にも成功し、12月16日・17日に3年ぶりに2度目

となる本市での開催が決定している。世界トップレベルのプレーを間近で見ることができるとの機会を創出することにより、多くの卓球ファンや選手関係者などが本市を訪れ交流人口の増加や経済効果などにつながるものと期待している。今後においてもスポーツ振興を健康づくりや青少年の健全育成に加え、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげることができると積極的に取り組んでいく。



3年ぶりに開催されるTリーグ

防災対策

問 防災活動の今後の取り組みは。

答 自主防災組織や教育機関をはじめ各関係機関などと連携を図り、地域の皆様と自助、共助、公助プラス近助を発揮し、南海トラフ巨大地震対策については、発生確率がより高まっていく8年後、2030年をターゲットにそれまでにできる備えを進めていくとともにいつ起こるか分からないその他の自然災害にもしっかりと取り組んでいく。



会派 公明党
 まえだ なつこ
 前田 ナツ子

公共交通およびコミュニティバスの導入運行

問 高齢者の生活の足となる交通手段についての考えは。また、高齢者の運転免許証の自主返納者増加による交通難民対策および利便性が低い地域などにおけるコミュニティバスの導入・運行に向けての市としての考えは。

答 地域公共交通を取り巻く環境は大きく変化しており、地域に望ましい



公共交通網を明確化する地域公共交通計画を都市計画マスタープランや立地適正化計画との整合性を図りながら令和4年度に策定する。各地区自治振興会を単位とする意見交換会や市民アンケート、バス利用者への実態調査を実施した。結果を踏まえ、実情に即した新しい交通体系の検討、コミュニティバス導入についての課題解決に取り組んでいく。

子どもインフルエンザ予防接種の助成金

問 今冬、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されている。インフルエンザは任意接種のため全額自己負担である。そのため子育て世帯の家庭では経済的負担が大きい。本市として子育て世帯を支援する子どもインフルエンザ予防接種助成金への考えは。

答 本市は、65歳以上の高齢者または基礎疾患のある方への助成を実施している。子どもインフルエンザ助成金においては厚生科学審議会、ワクチン分科会での協議内容や他の自治体の状況などを注視し、慎重に検討していく。



会派 未来
 こうらい ひろゆき
高麗 裕之

**必要な人に
 必要な支援策を**

問 生活必需品が値上がりし、家計への負担が増えているため、政府は、住民税非課税世帯を対象に1世帯あたり5万円を給付するとしている。

答 コロナ禍と物価高騰の影響を受けている市民、事業者への追加支援について、どのように考えているのか。

答 本市では物価高騰などの影響を受けやすい高齢者などに1人あたり5000円分のうずとく商品券を給付するなど、さまざまな支援策に取り組んでいる。

政府が決定した住民税非課税世帯への1世帯あたり5万円の給付事業を早期に実施できるよう取り組む。

また、追加支援については、必要に応じて補正予算を編成するなど支援策を講じる。

要望 確実に物価高対策になるような支援策を強く要望する。

動物愛護の取り組みを

問 鳴門市では、令和2年度より、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用を1頭につき上限1万円補助してきた。

今年度は、予定より早く終了したが、来年度以降はどのように取り組むのか。

答 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助事業については、実施予定頭数を令和2年度は50頭、令和3年度は70頭、今年度は100頭と順次拡大した。

今年度は、受付開始から2か月もたたない7月25日に予算をすべて執行し、募集を終了した。

実績は、107件、補助総額は100万円となる。

市民のニーズは大きいと認識しており、必要となる財源の確保に努める。

要望 動物愛護の観点から、手術費用補助の拡大を要望する。



不妊・去勢手術のため捕獲された飼い主のいない猫

個人質問

① 叶井 克典

1. 教育行政について

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策について

2. 健康福祉行政について

- (1) 病気の予防対策について



④ 上田 公司

1. 子育て支援について

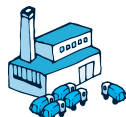
- (1) 支援策について
- (2) 学校給食について

2. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 実施状況について

3. クリーンセンターについて

- (1) 民間委託について



② 山根 巖

1. 公共交通機関について

- (1) JR鳴門線存続への取り組みについて

2. 環境衛生行政について

- (1) 火葬場及びクリーンセンター業務の民間委託について

3. 土木行政について

- (1) 市道明神日出線の道路整備について
- (2) 市道小島田中央線について

⑤ 三津 良裕

1. 観光行政について

- (1) 世界遺産登録事業について
- (2) コンベンション・ビューロー事業について

2. 公園整備事業について

- (1) 公園の遊具の整備について
- (2) 公園のトイレの整備について

3. 子育て支援について

- (1) いじめ・不登校について
- (2) 無園児対策について
- (3) 奨学金制度について

③ 八木 亨

1. 農業行政について

- (1) 耕作放棄地について



⑥ 長濱 賢一

1. 公有財産マネジメントについて

- (1) 鳴門市の公有財産管理の現状と課題について
- (2) 鳴門市の公有財産マネジメントの取り組みについて

2. 観光・交流のまちづくりについて

- (1) 観光について
- (2) 国際交流の推進について

3. 地域通貨について

- (1) 地域通貨の導入について

個人質問



かない かつのり
 葉井 克典
 (潮)

学校の新型コロナウイルス感染症対策について

問 学校内感染拡大の基準は。また、タブレット端末の持ち帰りは。

答 学校内での感染の判断は、学級単位で感染拡大しているかで判断している。

新型コロナウイルス感染症などにより、登校できない児童・生徒に対し、タブレット端末の家庭への持ち帰りを実施しており、端末を利用した学習や健康確認などを行っている。

病気の予防対策について

問 各種検診の状況は。

答 国民健康保険被保険者に対し、特定健康診査は40歳から74歳を対象に、定員を設けず実施している。人間ドック・脳ドック事業は30歳から74歳を対象に定員を設けて、ヤング健診は20歳から39歳を対象に定員を設けず実施している。本市在住の方

を対象に各種がん検診は、胃がんの集団検診を除き、概ね定員の設定はない。各種検診の結果を特定保健指導および糖尿病などの重症化予防事業に活用しており、がん検診も、精密検査が必要な方に精密検査の受診勧奨を行うなど、市民の健康増進の推進に活用している。

問 人間ドックは希望者全員が受診できないのか。

希望者全員に人間ドックの受診を

答 人間ドックのニーズは把握している。健康増進意欲の高揚や疾病の早期発見・早期治療を図るため、多くの方々を受診できる環境を整える必要性は認識している。人間ドックについては、受け入れ可能な2つの医療機関を指定しており、受け入れ可能な人数に限りがあることに加え、保険料の増加に繋がることから、人数枠の拡大は難しい。



JR鳴門線の存続を

問 JR鳴門線の存続に向けた今後の取り組みは。

答 JR鳴門線の未来を考えるページを市公式ウェブサイトに設け、進捗状況を適宜発信するとともに、JR四国をはじめとする関係機関との連携をより一層密にし、2回目のJR鳴門線に関する意見交換会の開催や地域の皆様とともに長期的な視点に立ちJR鳴門線の課題解決に向けた取り組みを進める。



存続が望まれるJR鳴門線(鳴門駅)



やまね いわお
 山根 巖
 (潮)

火葬場およびクリーンセンター業務の民間委託

問 民間委託の状況や方向性と今定例会に提案された債務負担行為の内容は。

答 火葬場は、本年度末には正規職員2名が定年退職を迎えるため、来年度から3年間で8197万2000円の債務負担行為を追加した。また、クリーンセンター業務のうち、リサイクルステーションからの瓶やペットボトルの資源ごみの収集業務については、来年度から3年間で7200万円の債務負担行為を追加した。今後、その他のごみ収集業務やごみ焼却業務、し尿処理業務についても、順次民間委託を進める。

※債務負担行為：単年度で終了せずに後の年度において負担・支出をしなければならない事業などの債務を約束すること。

市道明神日出線の整備

問 市道明神日出線の道路整備についてどのように推進していくのか。

答 今年度に入り、当該道路整備に係る地権者へ協力の再確認を行ったところ、4人の方から前向きな返事をもたらした。今後も残りの地権者に協力の再確認を進めるとともに、筆界未定の土地が存在することから所在地の確認作業を進め、未整備区間の道路整備に取り組む。

〈議員・理事者は全員マスクを着用し発言を行っています〉



やぎ とおる
八木 亨
(平成なると)

耕作放棄農地対策

問 近年、至る所に耕作放棄地が見受けられ作物を食い荒らす害虫の発生源となっており、隣接した農地の加害に留まらず住民の生活環境にも影響を及ぼしている。中には放置面積が6ヘクタールで30年以上経つものもある。どのように取り組み、どのような対策を講じられているのか。

答 農地の保全および耕作放棄地対策として、JAと連携した耕作放棄地対策共同利用農機具貸付業務、川崎及び市場農機具共同利用組合と連携した共同利用農機具の貸付業務、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金による農地の再生、農業委員会と連携した市内全農地を対象とした農地パトロールなどを実施しているほか、地域と協力した取り組みも行っている。

今年度からは鳴門市農業経営基盤強化支援事業を創設し、農業者が共同で利用する機械などの導入に対して施策拡充を行うなど、今後も農業

振興計画に基づき、重層的な生産支援策、地域などと連携した活動により、耕作放棄地対策に継続的に取り組んでいく。



子どもの医療費無料化の拡充について



うえだ こうじ
上田 公司

問 市は今年度より「なるとまるごと子育て応援ハックージュ事業」を進めているが、一方で子どもの医療費無料化は県内自治体と比較してかなり遅れている。比較検討されやすい支援策が遅れたままでは「まるごと」とは言えず、効果も限定的だと思うが。

答 本事業の検討にあたっては、近隣自治体との比較なども行いながら施策を組み合わせ、子供1人あたり10万円の出産祝い金や保育料の第2子無償化などを実施している。



個人事業主がコロナ感染した場合の支援について

問 同じ国民健康保険や後期高齢者医療の加入者でありながら、個人事業主は傷病手当金の対象外となっていることから、全国の自治体では国の交付金の活用や独自に財源や計算方

式を工夫し支援している所があるが。

答 個人事業主への所得補償として妥当な支給金額の算出が困難であり、実施費用の全額が市の負担となることから、個人事業主への対象拡大は困難である。

クリーンセンターの民間委託と職員の負担について

問 全国では、ルールに沿わない収集や大規模災害時に迅速な収集が困難になることを懸念して全面委託にしない自治体が多いが、令和11年度に全面委託する市の対応は。また、2名乗車における職員の負担増の把握や、荒天時における収集可否の判断などについて。

答 全面委託では職員数の減により緊急時の柔軟な対応が困難になることが考えられるが、職員全体での対応や民間委託の活用などを検討し対応する。また、職員の負担については、収集の状況などについて聞き取りを行い、総合的に考慮して判断している。荒天時には天候の推移や路面状況の情報を収集・分析した上で、実施するか時間調整するのかを管理職が協議、判断している。

個人質問



みつ よしひろ
 三津 良裕
 (創心クラブ)

世界遺産登録事業

問 鳴門海峡の渦潮や四国八十八か所霊場の世界遺産登録、鳴門市ドイツ館保存の板東俘虜収容所関係資料の「世界の記憶」への登録に向けての現在の取り組み状況は。

答 関係団体と連携し普及啓発活動を行っている。資料724点を「鳴門市ドイツ館板東俘虜収容所資料Web」に掲載し、県やドイツ側と連携しつつ登録を目指している。

公園の遊具やトイレの管理

問 汽車公園の蒸気機関車は、さびれている。公園の遊具、トイレ清掃の維持管理はどのように行っているか。

答 遊具は年度当初に職員が点検し、日常は自治振興会などにおいており、



汽車公園(撫養第3公園)

トイレ清掃は自治振興会や専門業者に委託している。汽車公園のSLは四国旅客鉄道株式会社等の意見を伺い対応したい。

子育て支援について

問 全国で学校やSNSでいじめを受けた子どもが誰にも相談できず絶望感や無力感で自殺する極めて深刻な問題が起きている。本市のいじめの実態といじめ防止への対応策は。無園児がいる家庭への支援策は。

答 令和3年度は小学校274件、中学校71件のいじめを認知しており、各小中学校で「校内いじめ対策組織」を設け、子どもや保護者と良好な関係性を築き、子どもの話に耳を傾け、深刻な事態の前に解決できるように取り組んでいる。

年2回いじめアンケート調査を実施、全小中学校で「いじめ防止子ども委員会」を設け、子どもたちが自らの活動でいじめ防止に取り組んでいる。無園児がいる子育て家庭に寄り添った相談対応や居場所の確保に取り組んでいる。



ながはま けんいち
 長濱 賢一

公有財産マネジメントについて

問 既存の公共施設などの更新に充当できる財源の不足から、将来は現有施設の6分の5しか更新できない。公有財産の管理・把握や変動状況について問う。

答 老朽化などにより集会所や幼稚園・学校などは廃止・機能移転・統合し、遊休地・施設は貸与などで活用している。今年度は、売却の可能性を調査して歳入の確保につなげたい。

要望 公有財産マネジメント推進体制に管財や不動産マネジメントの民間を加えた専門的な部署を設置し、公有財産マネジメントのスピードアップと企業版ふるさと納税などを利用した財源確保を提案する。

観光交流のまちづくりについて

問 第六次総合計画の成果と課題について。また、バン格拉デシユとの国際交流についての現状は。

答 阿波おどりなどの実施や、広域連携の推進、鳴門駅前整備などに取り組んできた結果、国内外の観光入込客数は増加した。今後も効果的な観光策を実施することで、コロナ禍以前を上回る観光客の増加につなげたい。

バン格拉デシユとの交流は、市長が経済関係者などとともにナラヤンガンジ市を訪問し、友好都市盟約に向けた意向書を締結した。今後も関係団体や経済関係者などと連携し、さらなる機運の醸成に努める。

要望 観光振興は、大阪・関西万博や大鳴門橋自転車道開通を踏まえた次期観光振興計画の策定を要望する。バン格拉デシユとの交流は、本市経済界を支援するためにも、速やかに友好都市提携を進めることを要望する。



バン格拉デシユ共和国展(令和元年開催)

令和3年度の決算を審査しました

5日間にわたり予算決算委員会を開催し、令和3年度決算に関する議案13件について審査しました。

【委員会での審査の中で出た質疑やそれに対する答弁を要約したものを掲載しています。】

教育

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

【教育】

■学校トイレ環境改善事業の実績および今後の予定は？

●令和3年度は、黒崎小学校、瀬戸中学校、第二中学校の3校のトイレを全面改修し、においの原因になっていた給排水管の更新、床面の乾式化、建具の一新や便器の洋式化を行った。

今年度は、堀江北小学校、板東小学校の改修工事と撫養小学校の改修設計を行っており、次年度以降に改修設計を予定しているのは、桑島小学校である。



* * *

■令和2年度からの繰越予算のうち新型コロナウイルスの感染症予防対策費の修繕料の内容は？

●幼稚園・小中学校では多数の児童生徒などが同一の水栓を使用しており、手動の場合、ウイルスが付着しやすいことから、感染予防のために各校・園で希望調査を行ったうえで、使用頻度の高い水栓の蛇口を非接触型に交換し自動水洗化した。幼稚園で118基、小学校で526基、中学校で152基を設置した。

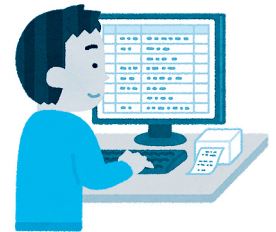


* * *

■街路灯の設置間隔の基準はあるのか？

■クラウド型図書館システムとはどのようなものか？

●システム提供会社のサーバーにおいて図書情報や利用者情報を管理するものであり、事業経費の削減、職員の運用負荷の低減、セキュリティの向上を図るため、平成25年度に導入した。



★多額の予算をかけて最新のシステムを利用しているにもかかわらず、画面表示などが利用者目線に立ったものとなっていないことから、次回の更新時には、この点の改善について検討してほしい。

* * *

■リニューアル前後の図書館の利用者数と令和3年度の利用者の居住地域はどのような状況か？

●リニューアルオープン前である平成29年度の年間貸出者数は4万4,835人であったが、令和3年度は、3万5,097人となっており、コロナ禍の影響により減少したのではないかと考えている。また、利用者の居住地域については、令和3年度は、多い順に撫養町5,665人、大麻町1,949人、鳴門町1,916人となっている。

まちづくり

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

【まちづくり】

■鳴門市LED道路照明灯等賃貸借はどのような内容か？

●街路灯5356基すべてがLED電灯で、令和2年度から令和11年度まで10年間のリース契約を締結しており、令和3年度のリース料は2,661万9,120円となっている。

* * *

●間隔はおおむね100メートルを基準としている。

* * *

■木津野松村線道路改良工事はどのような内容か？

●道の駅「くるくる なると」オープン後に大幅な交通量増加が見込まれたことや、慢性的な交通渋滞の発生を解消するため、2車線から3車線へ道路拡幅を行った。また、現況舗装解析により、舗装の強度が必要となったことから、舗装強度を上げるための改良工事を行った。

健康・福祉

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

【健康】

- ヘルスマイトの地域活動の内容は？
- 食を通じた健康づくりに取り組むボランティアの団体である食生活改善推進協議会の会員を通称「ヘルスマイト」という。令和3年度のヘルスマイトの活動実績は、幼稚園の年長児相当とその保護者を対象とした親子の食育教室を4回、野菜摂取量アップ推進運動として街頭啓発を2回、高齢者向けの生涯骨太クッキング教室などの食育教室を3回実施した。



【福祉】

- 生活困窮者自立支援事業のうち、子どもの学習・生活支援事業の内容は？
 - 貧困の連鎖の防止が国の掲げる目標の一つとなっており、それに向け、主に生活保護受給世帯の中学生を対象に、希望の進路に進めるように無料の学習支援を実施している。経済的な理由により、学力や進学に不安を抱えている子どもたちの学習面の支援を行っている。
- * * *
- 地域子育て支援拠点事業の令和3年度の実施内容は？

- 令和3年度は、主に、在宅で子育てをする家庭の親子などが互いに交流する場や保育士に子育てに関する相談を行う場を提供する「ひろば事業」、生後4ヶ月の子どもがいる家庭を訪問し子育てに関する相談に応じたり子育て支援サービスを案内する「おめでとう赤ちゃん訪問事業」、妊婦やその家族の相談に応じ子育てに関するアドバイスを行う「にこにこマタニティ事業」、小中学生の自己肯定感を育む「赤ちゃん授業」を実施した。
- * * *

- 保育士人材確保推進事業の令和3年度の実績は？
- 保育士などの新規就労や復帰を促進するための就労支援金および転入支援金の支給、勤続年数に応じた手当・奨励金の支給などを市独自で実施している。就労支援金を活用した方は10人で合計支給額100万円、転入支援金を活用した方はいなかった。勤続年数に応じた手当については、勤続年数2年から10年未満の方が月額3,000円で合計支給額334万8,000円、勤続年数10年以上の方が月額5,000円で合計支給額444万円であった。また、勤続年数が5の倍数の年に5万円を支給する奨励金については、合計支給額195万円であった。この他、保育士職の魅力を伝えるパンフレットを作成し配付した。

観光・産業

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

【観光・産業】

- スポーツ大会・合宿誘致推進事業について、コロナ禍の影響でスポーツ大会や合宿が中止となり、令和3年度は実績を残せなかったが、今後は、アフターコロナを見据えて積極的な取り組みを行って実績を残してほしい。
- 令和3年3月に設立したNARUTOスポーツコミッションを軸として、引き続き、関西圏をターゲットに本市のPRを進めていくほか、NARUTOスポーツコミッションの事業として新しく取り組むアグリツーリズムやガストロノミーツーリズム、武道ツーリズムの推進など、新たな誘致促進に繋がる事業にも積極的に取り組み、より一層、大会・合宿誘致を推進していきたい。

- なるとビジネスプランコンテストの目的は鳴門の経済の活性化につながる新事業を創出することだが、応募件数が減少傾向にあることについてどのように考えているのか？

- 6年間で計103件の応募があり、これまでグランプリ、準グランプリなどの受賞者の中から確認できる範囲では、16事業が事業化されている。

- なお、応募件数は、平成30年度の22件が最多であり、令和3年度は12件となっている。今後の事業の実施については、今年度の実績なども踏まえながら、実施方法などについて検討していきたい。



暮らしを守る

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

【消費生活】

- 消費者被害防止見守りネットワークの活動内容は？
- 消費者被害の最新情報などを共有することや、年1回程度開催する定例会で鳴門市の消費者トラブルの現状や対応について情報共有・意見交換を行うこと、また、各機関が自らの活動をする中で、市民が消費者トラブルに巻き込まれる可能性がある事案が発覚した場合に消費生活センターに繋ぐことなどである。

【防 災】

- 老朽危険空き家の調査方法と戸数は？
- 空き家を外観目視で調査する空家等実態調査を平成27年度、令和3年度に行い、空き家戸数は平成27年度1,442戸、令和3年度2,839戸であった。

* * *

- 老朽危険空き家除却の今後の取り組みは？
- 新たな対策については空家等対策計画協議会の中で検討していくが、1つは空き家の発生抑制対策として、相続が発生する前から不動産の処分をしていただけのような周知・啓発などの取り組みを検討中である。

* * *

- 災害時に迅速に対応するために、備蓄品をどのように配備しているのか？
- 市内13箇所の拠点施設である災害対策本部13支部に重点的に配備している。また、北灘地区は、大規模災害時に孤立する可能性があることから、北灘東幼稚園にも重点的に配備しているほか、妊産婦、乳児救護所の設置予定施設となっている鳴門病院附属看護専門学校にも、妊産婦、乳幼児に必要な備蓄品を重点的に配備している。

【消 防】

- 救急救命士は、現在何名在籍しているのか？
- 有資格者が30名おり、運用者は19名で、そのうち3名が女性である。資格取得のためには消防本部内での選考試験を受験し、正答率が8割以上ある者が半年間研修所での研修を受講し国家試験合格後、病院実習を経て取得する。

* * *

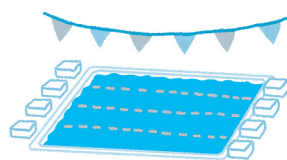
- 救急救命士養成事業の今後の取り組みは？
- 救急出動時に救急救命士2名乗車を目標として、職員の救急救命士養成に取り組むとともに、救急救命士資格保有者の採用も積極的に行っていききたい。

生 活

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

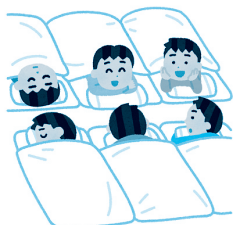
【スポーツ】

- スポーツセンター先進事例視察旅費の内容は？
- 今後のスポーツ施設整備の検討にあたり、先進地である愛媛県松山市の温水プールを視察した。施設の見学をはじめ、建設に関することや運営体制などについて現状や課題を伺った。



* * *

- 新しいスポーツ施設についての今後の考えは？
- スポーツの成長産業化の観点から、スポーツ大会・合宿の誘致やスポーツイベントの開催などにより、



交流人口の増加を図り、地域にぎわいと経済効果を生み出すことができるアリーナ型での整備が必要であると考えている。

現在は、新庁舎整備事業などの大規模事業に着手していることから、財政負担の平準化や収支見通しなどを勘案するほか、次期行財政改革計画や都市計画マスタープランなどとの整合性を図った上で先進地の事例を参考にスポーツ施設に必要なとされる要件の整理を行うとともに、管理運営手法などについて調査研究を進めていく。

【水 道】

- 水道事業ビジョン（経営戦略）の見直し前後の純利益は？
- 令和3年度決算の純利益は2億3,600万円あまりで、見直し後の純利益は2億3,100万円あまりとほぼ計画どおりとなっている。計画上の純利益が見直し前より増えている理由は、収益面では平成31年度に水道料金を約2割引き上げたこと、費用面では修繕費や人件費を抑えたことが要因である。

その他

■：質疑 ●：答弁 ★：意見

【ボートレース】

- 地元対策費の事業内容は？
- 地元対策費は、市内全域を対象に、ボートレース事業に関係する案件などに対し、地域からの要望や市関係課との協議を経て、予算の範囲内で除草や水路の清掃、道路補修など、生活環境に係る改善事業などを実施している。

【地域活性化】

- 地域おこし協力隊の活動実績は？
- 地域おこし協力隊の方は2名で、演劇の活動を通じて地域や学校、世代を超えた繋がりがづくり、また、コミュニケーション能力などの向上を目指すことを通じて、鳴門市の地域活性化やPRに取り組んでいる。
令和3年度の実績としては、地域活性化に資するイベントとしてミュージカルライブの開催、小中学生とその親を対象とした鳴門の自然を生かした夏休みの宿題応援企画、オリジナルミュージカルの公演を実施した。

* * *

- 鳴門市内サイクリスト通行量調査業務について、調査場所と通行量は？
- 調査場所は、鳴門町の大毛海岸付近、北灘町の国道11号線沿、大麻町の県道12号線沿の3か所であり、例年3月の2日間で実施している。
通行量は、令和元年度59名、令和2年度94名、令和3年度123名となっている。



【環 境】

- 犬猫愛護推進事業の令和3年度の実績は？
- 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業については70件、飼い犬・飼い猫の避妊・去勢手術推進事業については88件で、両事業の目標合計件数170件に対し実績は158件となった。
- ★ 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業について、令和4年度は予定していた頭数が多かったにも関わらず、過去最短で予算を使い切り募集を締め切ったことから、令和5年度については予算額を増やしてほしい。



【財 政】

- 令和3年度末の地方債現在高は276億2,656万6,000円で、前年度末に比べて7億7,000万6,000円増加しているが、その要因は？
- 道の駅「くるくる なると」整備事業や新庁舎整備事業などの大型事業の実施に伴い、地方債の発行額が増加したためである。



* * *

- 令和3年度末の積立金残高は91億4,249万3,000円で、前年度末に比べて46億6,207万6,000円増加しているが、その要因は？
- 令和3年度末の積立金残高は、鳴門市において過去最高額となっている。令和3年度にモーターボート競走事業会計から52億円の繰り入れがあり、そのうち、約44億円を令和4年度以降の事業に充てるために積み立てたことが主な要因である。

* * *

- 入湯税の収納状況は？
- 令和3年度が1,244万5,200円、令和2年度が1,229万2,350円となっておりコロナ禍前の令和元年度の2,194万8,750円と比較して大きく減少している。また、令和4年度は、9月申告分時点では昨年度より増加しているが、コロナ禍前の状況までは回復していない。



* * *

- 入湯税の税率は全国一律なのか？
- 鳴門市税賦課徴収条例により入湯客1人1日について150円と規定されており、全国一律ではない。

* * *

- 行政評価の内部評価と外部評価はどのように行っているのか？
- 内部評価は、部長級で構成される総合計画策定委員会で検討した後に市として決定しており、外部評価は、学識経験者、公募委員などで構成される総合計画審議会において評価している。
- ★ 高校生などの若年層が事業評価に参加する仕組みも検討してはどうか。



ご意見箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会 ご意見箱」を設置しています。

議会活動に関して日頃から感じられていることやお気づきの点がございましたら、お気軽にご提出ください。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

- ①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会 ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信してください。



<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/ikenbako/index.html>

- ②鳴門市役所 本庁舎1階 受付前にご意見箱を設置していますので、付属の用紙に必要事項をご記入の上、投函してください。

※ご意見に対する回答はいたしかねます。

個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。

本会議や委員会などの傍聴について(お願い)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、しばらくの間、本会議や委員会などの傍聴については、次のとおり傍聴人数を制限しております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議 場：6人以内
委員会室：傍聴なし

※本会議の様子は、インターネットによる配信やテレビ鳴門での放送にて、委員会の様子は、インターネットによる配信にて、ご視聴いただけますのでご利用ください。

令和4年第4回定例会の日程 (11月30日～12月23日)

日	月	火	水	木	金	土
11月27日	28	29	30 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	12月1日 一般質問 通告締切	2	3
4	5	6 一般質問(代表)	7 一般質問(個人) 議会運営委員会	8 一般質問(個人) 予算決算委員会	9 総務文教委員会	10
11	12 生活福祉委員会	13 産業建設委員会	14	15	16 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	17
18	19 本会議 全員協議会	20	21	22 議会運営委員会 全員協議会	23 本会議／閉会	24

■(赤字) はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字) はインターネット中継を行います

議会を動画で見よう！

本会議と委員会の様子は、インターネット中継と録画配信でご覧いただけます。なお、本会議の様子は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。ぜひご覧ください。

《議会広報委員会》

委員長：江戸 貴志
副委員長：上田 公司
委員：八木 亨・長濱 賢一・前田ナツ子
叶井 克典・野田 粹之・高麗 裕之
小西 努

■会議録を見よう■

次の2つの方法で一般質問などの内容を詳しく確認することができます。

【議会事務局の窓口で見る】

- ①市役所本庁舎3階の議会事務局へお越しください。
- ②見たい会議録をお伝えください。



【ウェブサイトから見る】

- ①「鳴門市議会」を検索
- ②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」から見たい会議録を検索



URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/naruto/pg/index.html>

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。